

平成30年度コミュニティ交流会結果報告

日時 平成31年1月15日(火) 午後3時~5時15分
 場所 天白区役所 第3・4会議室
 参加者 14名(各学区区政協力委員会委員長)
 テーマ 人材発掘・人材育成
 内容 上記テーマについて、各学区の悩みや課題を共有し、学区ごとの取り組み事例などを情報交換しました。
 講師 一般社団法人地域問題研究所 主任研究員 池田 哲也 氏
 事例発表 平針学区(活動を通じての人材発掘)、相生学区(相あいサポートバンク)

学区役員

現状の課題・悩み

- ・高齢化(体力面の心配)
- ・平日昼間の活動も多い
- ・現役世代は仕事がある(近年は高齢者も)
- ・役員の任期が短い(一からの選任・育成)
- ・役員の固定化(意見のマンネリ化)
- ・役員の派閥化
- ・女性が少ない

②負担感軽減策

- ・市からの仕事を減らす
- ・会議を夜間・土日にする(若い世代にも参加しやすく)
- ・より小さな単位でイベント等(防災訓練、ふれあい給食会)を実施し、運営をその長にまかせる(参加者は気楽に参加できる。運営側、参加者は自分のこととして考える)
- ・声掛けの段階で仕事内容を細かく説明(仕事の透明性)
- ・懇親会の開催
- ・1年見習い期間を設ける
- ・一旦、やめてみる(不必要な会議・イベントの洗い出し)

ポイント
負担感を少なく、よい雰囲気づくり

①新規役員の声掛け策

- 1 声掛けにあたって...
 - ・組長会議等で予め、目星をつけておく
 - ・まずは顔見知りになる
- 2 声掛け方法
 - ・積極的声掛け(繰り返し何度でも1度目回覧+直接声掛け)
 - ・アメーバ式声掛け(あらゆる機会にイベント参加者~選挙従事者まで)
- 3 説明方法
 - ・粘り強く活動内容を説明...
 - ・とにかく一度なってもら(習うより慣れてもらう)

ポイント
キーマンを離さない

不安(忙しい? 何やるの?)

③裾野を広げる策(イベント等)

- ・子ども中心のイベント(子どもが集まれば大人も集まる 子どものころから、地域に親しむ)
- ・人と人がつながるイベント(餅つき大会等)

ポイント
学区・地域に関心をもってもら

役員候補者

- ・町内会長、組長
- ・イベント参加者
- ・学区内任意団体、サークルのメンバー etc

町内会長・組長は、短いサイクルで交代してしまふことが多い

見方を変えれば、新しい顔ぶれが入り、役員の固定化解消につながる
 ただ、そのためには、誰でもできるような組織づくり、マニュアル化等が重要

「役員にはなれないけど、少しだけなら、手伝えるよ!」
 という場合には...

地域活動ボランティア(仮称)

...学区内でちょっとしたことなら、手伝える方の受け皿

活動回数が比較的少ない役割

...どんな形でも学区に残ってもらうことが大事

加入促進

町内会加入世帯

町内会非加入世帯

学区住民

参加

自分の住むまちに愛着・感謝を持つように何らかの意識改革が必要

普段忙しいけど少しだけなら...

趣味や特技を生かしたい



設営等の手伝い

講師、参加者

電球の交換など

